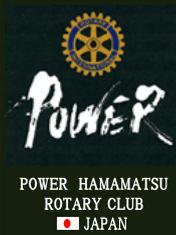


国際ロータリー第2620地区  
静岡第5グループ



# 週報 パワー浜松ロータリークラブ

新しい流れを、知恵を集めて

RI 会長 シェカール・メータ/第 2620 地区ガバナー 小林聡一郎 /会長 高貝 亮 /幹事 山下俊彦  
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松内 Tel:053-452-0800  
Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp  
創立：2002年10月22日 認証伝達式：2003年4月29日 スポンサークラブ：浜松中RC



## 第871回例会10月26日(火)AM7:30~8:30

- 会場：オークラクトシティホテル浜松 3階 チェルシーの間
- 司会：知久武 鷺津有一
- 点鐘：高貝 亮 ■週報：田淵邦彦
- ロータリーソング：「夢のみずうみ」(※音楽のみ)
- ゲスト：(株)静岡県セイブ自動車学校代表取締役社長 早川和幸様  
米山記念奨学生 陳俊達さん

## 出席報告/スマイル報告

会員数 74 名 (内出席免除会員 4 名)  
出席数 53 名 出席率 75.71%

スマイル提出者氏名掲載  
社会奉仕部会一同、小澤邦比呂さん  
青空例会参加者一同、河村公隆さん

## 会長挨拶



私が浜松で仕事をするようになったきっかけは、浜松に日系ブラジル人の方が多数居住されているからです。私はブラジルが大好きで、ブラジルにたくさんのいい思い出があったので、ブラジルとかかわる仕事がしたいという気持ちを持っていました。まだ浜松に住み始める前に、浜松に下見に来て、今はなき駅前のフォルテビルの7階にあった浜松国際交流協会で、入会申込みをしたことを懐かしく思い出します。

2004年10月に浜松で働き始め、ブラジル人を中心とする外国人の方々の法的支援をする中で、支援者との連携が大切なことを強く感じました。次第に国際交流協会や支援者団体などつながって活動する機会が増えてまいりました。国際交流協会

に足繁く通っているうちに、地域の多くの企業や市民が地域で暮らす外国人を支えている様子を知ることになりました。

今年度、グループの会長幹事会に出席しますとグループ内の多数のクラブがさまざまな形で雄踏の外国人学校ムンド・デ・アレグリアさんを支援されていて、さすがロータリアンだなと嬉しくなります。クラブによる支援のみならず、セイブ自動車学校さんは毎年チャリティーゴルフの寄付をされていますし、松川電気さんは職場見学の機会を提供されるなどの支援をされています。

セイブ自動車学校さんは、平成18年から国際アシスト課をいう部署を設けて、日系ブラジル人の方々に母語で指導できる体制をとられているということで、大変、先進的な活動です。

外国人生徒の受け入れや、外国人スタッフ雇用は、手間もかかるし、心配ごとが増えるので、経済的な利益だけを考えたとしてもできることではないと思います。そこには日本語に不自由なブラジルの方が母語で安心して教習に臨んで欲しい、日本社会の一員として安全に運転できる技術を身につけて欲しい、そうした思いがあって初めてできることだと思います。

まさにこうした会社こそが共生社会の真の担い手であり、大切にしたい会社であるゆえんだと思います。

## 幹事報告



① 10月20日に2620地区静岡第5グループの会場幹事会が開催されました。報告事項をお知らせいたします。新クラブ設立についてです。

今年度の国際ロータリーのキーワードはGROW MORE DO MORE もっと成長しよう、もっと行動しようです。これを受けて第5グループでは新クラブ創設という目標が設定されて第5グループではアンケートを実施しました。集計では、賛成0、反対7票、どちらとも言えない4票でした。結果、第5グループ会長幹事会としては各クラブの会員増強に励み、第5グループの全体会員数を増やしロータリー活動の増強を図るという方針で進めようということになっております。

② 次々期のガバナー補佐推薦についてです。第5グループのアンケートの結果、現行のままで良い、9票、各クラブ推薦制に変えたほうが良い0、どちらとも言えない1票、未確定1票ということで、第5グループとしては現状の運営規定通り輪番制で進める。但し該当のクラブに事情がある場合は、会長幹事会にて討議し対応する。

③ 3つ目は2月27日（日）に実施予定のIMについてです。ホストクラブは浜松北ロータリークラブで会場はグランドホテル浜松ということですがコロナ感染症の増え方によって状況は変わります。

④ 次に協議事項ですがロータリーアクトとインターアクトの支援金についてです。ロータリーアクトクラブは、18歳以上の人が集まって、地域社会のリーダーと意見交換したり、リーダーシップと専門的なスキルを育みながら、楽しく奉仕活動を行います。ロータリーとロータリーアクトの会員は、世界各地で奉仕を通じて共に行動しています。大都市から僻村まで、ロータリーアクトはさまざまな地域社会で変化をもたらしているそうです。ロータリーアクト会員は、クラブの組織、運営、資金管理、活動や奉仕プロジェクトの計画・実施を自ら決定することができます。スポンサーとなるロータリークラブが奉仕のパートナーとしてロータリーアクトを指導・支援します。

第5グループでは浜松ロータリークラブの支援の元、浜松ロータリーアクトクラブが活動しています。第5グループからは1人500円の支援金を支出されトータルで307,500円。これに浜松ロータリークラブからの支援金192,500円を合算した50万円と地区補助金148,000円が活動の原資となっています。

インターアクトクラブでは、12～18歳の中学・高校生が、地元でのボランティア活動や海外のインターアクト会員（通称「インターアクター」）との交流を通じて視野を広げ、国際感覚を養っています。[ロータリークラブ](#)の支援を受けて設立されるインターアクトクラブでは、友だちと一緒に楽しみながらロータリーの「超我的奉仕」を学び、行動力を身につけます。第5グループでは浜松RCと浜松北RCがそれぞれ1校を担当しています。浜松RCが西遠女子学園、浜松北RCが聖隷クリストファー高等学校の活動を支援しています。

⑤ 本日は例会後に役員理事会議を行いますので担当者をご出席お願いします

## 委員会報告

### ■財団プログラム部会 堀内善弘副部長

職業奉仕部会の松島部会長と相談の上、来年の2月6日地区補助金事業「セラピードッグを知ろう」を活動させて頂きます。先日オールパワーで事前の書類を配信致しまして着々と準備を進めております。2月の寒い時期であり色々な事がコロナの終息に向けて懸念されてますが、清明寮さんすみれ寮さん光寮さんの一部ご参加を頂いて無事に滞り無く行いたいと思っております。奉仕委員会の方では当初事業計画の中で財団の補助をお願いしており一緒に窓口で行きまして、皆様のご協力を頂いて進む話です。セラピードッグの話は2年前に当クラブの卓話で来て頂きました国際セラピードッグ協会代表 大木トオルさんから今度浜松に来る時はドッグを連れて来たいと申し出があり金山会員に調整して頂きまして2月6日の運びになりました。午後2時から清明寮のグランドで行います。皆様のご参加を呼び掛けていきます。どうぞ宜しくお願い致します。

### ■職業奉仕部会 松島弘明部会長

奉仕委員会の担当の窓口として堀内さんと一緒に地区補助金事業の為に頑張りますので宜しくお願い致します。

### ■社会奉仕部会 熊谷真一副部長

ねむの木学園のカレンダーを次回11月9日の朝、受付にて募集致します。

皆さん毎年恒例ですがよろしくお願い致します。

### ■地区プログラム委員会 小澤邦比呂委員長

今月17日にインターアクト指導者講習会がオンラインにて開催されました。7月にインターアクト年次大会を予定していましたが前日にホスト校である甲府南高校の関係者からコロナの感染者が出まして急遽中止になりました。年次大会時に発表する予定の内容をインターアクトクラブの学生たちが指導者講習会にて発表いたしました。地区には19校のインターアクトクラブがあります。

今年度のテーマは「医療従事者にエールを」というテーマでございます。インターアクトクラブが日頃行っている地域貢献活動のアルミ缶数万本を使ったアルミ缶アート、千羽鶴を用いたアートどれも素晴らしい発表でした。今回の指導者講習会のホスト校である聖隷クリストファー中高等学校の生徒達はボールペンにメッセージを書いた物を医療従事者に贈るというものでした。常に胸のポケットに入れて頂いて自分達はいつでも応援していますよと伝えたいという事でした。生徒達の発表を聞いていますと大変感動いたします。

現在ロータリークラブは地区の行事、地区大会、青少年事業等、非常に多くの金額を費やしてイベント化している状況にあります。原点にして頂点であるという言葉があります。

我々も今一度ロータリーの奉仕の精神というものを考えてみる必要があるように思います。

資金を提供することはとても重要でありそれも素晴らしい奉仕活動です。今回色々な意味で子供達を見習いお金を使わなくても継続して出来る奉仕活動があるということを知る機会になり大変子供達に教えられた一日でした。

- 浜松西ロータリークラブ会員 (株) 静岡県セイブ自動車学校 代表取締役 早川和幸 様 卓話  
 「ノルマ、定年なし、人を生かす経営実践と地域貢献」 担当：社会奉仕部会



1. 自己紹介

氏名・所属・略歴等

- ・ 早川和幸 (株)静岡県セイブ自動車学校代表取締役
- ・ 1999年 (株)静岡県セイブ自動車学校代表取締役就任
- ・ 2006年 浜松西ロータリークラブ入会
- ・ 2007年 全国初のポルトガル語教習開始  
リフトスクール開設  
高齢者・定住外国人を積極的に雇用
- ・ 2019年～ 法政大学大学院博士課程在学中  
(中小製造業と定住外国人の雇用問題)

業界関係

- ・ 2003年～ NPO 法人静岡ビジネスサポートセンター理事
- ・ 2016年～ 静岡県指定自動車教習所協会副会長
- ・ 2019年～ 浜松西地区安全運転管理協会会長

2. 弊社の紹介

- ・ 会社名 (株)静岡県セイブ自動車
- ・ 所在地 浜松市西区大人見町 2510
- ・ 創業 1999年
- ・ 業種 公安委員会指定指定自動車教習所 (自動車学校)  
静岡労働局教習登録機関 (リフトスクール等)  
中部運輸局指定指定自動車整備工場 (民間車検)
- ・ 社員数 106名 (嘱託・パート社員を含む)
- ・ 卒業数 2020年実績  
自動車学校免許 (普通免許他) 4,300名  
自動車学校講習 (高齢者講習) 3,200名  
リフトスクール (リフト免許) 1,600名  
9,100名

弊社のCM (フジ TV 地方 CM 大賞受賞) 元読売巨人軍投手 水野雄仁氏と水の雄仁氏のおじさん

- 3. 企業理念 自利即利他 (じりそくりた) → 企業理念の考え方  
人に優しい社会を目指して仕事を通じて出来ることを実践
- 4. 会社経営における弊社の基本的姿勢 → 会社を取り巻くいろいろな方々との関わり
- 5. ノルマなし/定年なし/人を活かす経営実践で社員を活かす
- 6. 定年制度の変更と弊社での問題点 (課題)
- 7. 弊社社員の年齢構成
- 8. 高齢社員は貴重な人財
- 9. 弊社が考える高齢社員活用のコツ  
ノルマなし、定年なしに加えて仕事を通じて出来る3つの「コト」を実践しています  
地域貢献 ①児童養護施設入所児童等への自立支援→社会的弱者  
②ポルトガル語教習・南米系日本語学校への支援→多文化共生  
③障害者雇用・食材購入による間接雇用→障害者の就労支援

全社員で取り組む地域貢献

「日本でいちばん大切にしたい会社大賞」審査委員会特別賞 受賞 (第11回,2021年)